

ますます複雑化するクラウド、どう安全に活用する？

# クラウド時代の運用管理とセキュリティ対策の最適解

いまや企業におけるクラウド活用は一般的となっており、重要なワークロードでのクラウド利用も進んでいます。そんな中、システム構成の複雑化に伴い、IT基盤の運用管理やセキュリティ対策も複雑化するという問題が浮上しています。クラウド環境とオンプレミスを統合した、IT運用の高度化とセキュリティの確保が急務となっているのです。

## IT運用とセキュリティ対策でこんな悩みを抱えていませんか？

1

重要なデータを保護し、  
コンプライアンスへの  
対応をしたい

4

システムの  
体感レスポンスを可視化し、  
ユーザー体験と  
サービスレベルを改善したい

2

サービスごとに  
バラバラの認証を統合し、  
人とIDの紐づけ管理をしたい

5

大量に出力されるログを  
統合分析して障害対応を  
早めたい

3

Webサイトへのボットや  
DDoS攻撃から脅威を  
迅速に発見し、対処したい

6

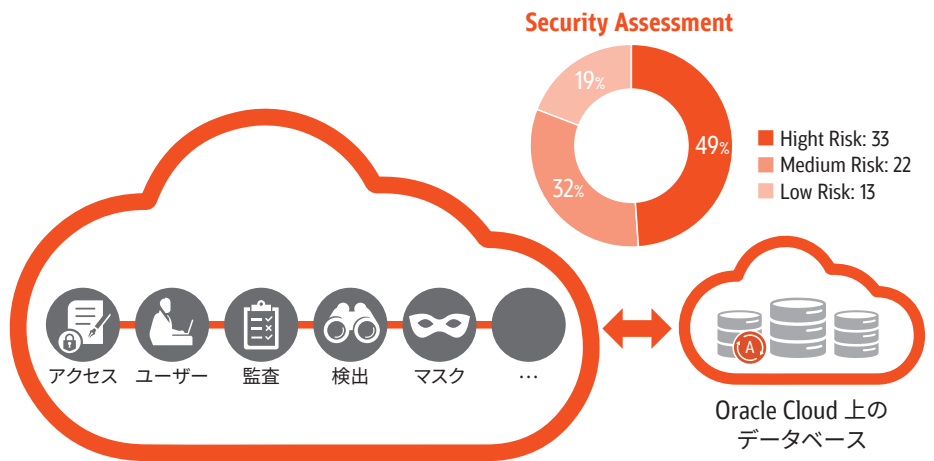
ITリソースの無駄な利用や  
ひっ迫を抑えて、  
投資を最適化したい

# 1

## 重要なデータを保護し、コンプライアンスへの対応をしたい



これまで、ローカルネットワークに隔離されたデータベースの情報漏洩リスクは低いと考えられてきましたが、クラウドの活用、サイバー攻撃の高度化により、境界防御による対策だけでなく、内部に侵入された後のデータの保護対策としてデータベースセキュリティが重要となっています。また、国内外の個人情報保護などのコンプライアンス要件においても「データベースセキュリティ対策」が求められています。データ、ユーザー、設定に関するセキュリティ課題を可視化し、機密データをマスキングするなど、対策を自動化することで、管理工数を減らし、データベースのセキュリティ脅威とコンプライアンス対応を実現できます。



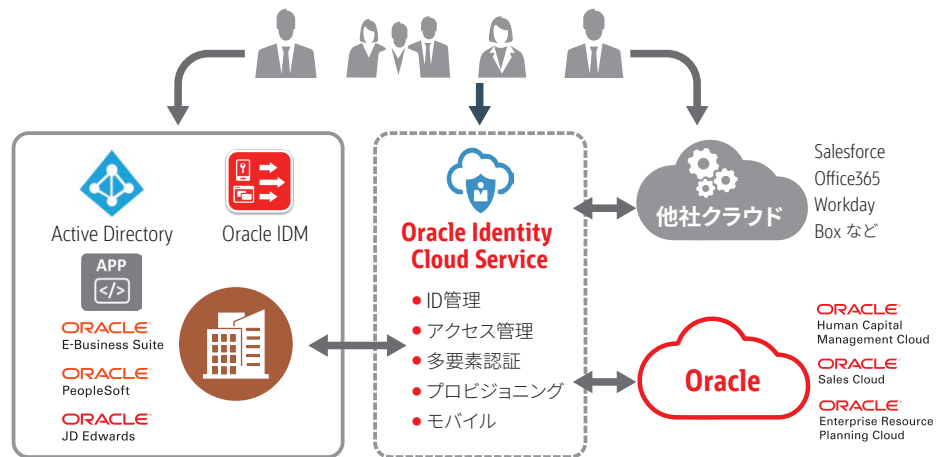
ソリューション Oracle Data Safe

# 2

## サービスごとにバラバラの認証を統合し、人とIDの紐づけ管理をしたい



オンプレミスとクラウドと両方のサービスを利用することが一般的になる中で、IDアクセス管理の煩雑化が課題となっています。当然のことながら利用サービスが増えれば、管理すべきIDも増加し、利用者との紐づけが困難になります。また、パスワード忘れの対応など管理者の負担がさらに増えるだけでなく、ユーザーの利便性低下につながります。対して、既存のオンプレミス環境とシームレスに連携可能なID管理を実現すれば、ハイブリッド環境における管理負荷の抑制やシングルサインオンやIDと人の紐づけの実現、さらには多要素認証による認証強化によりセキュリティリスクも低減できるようになります。



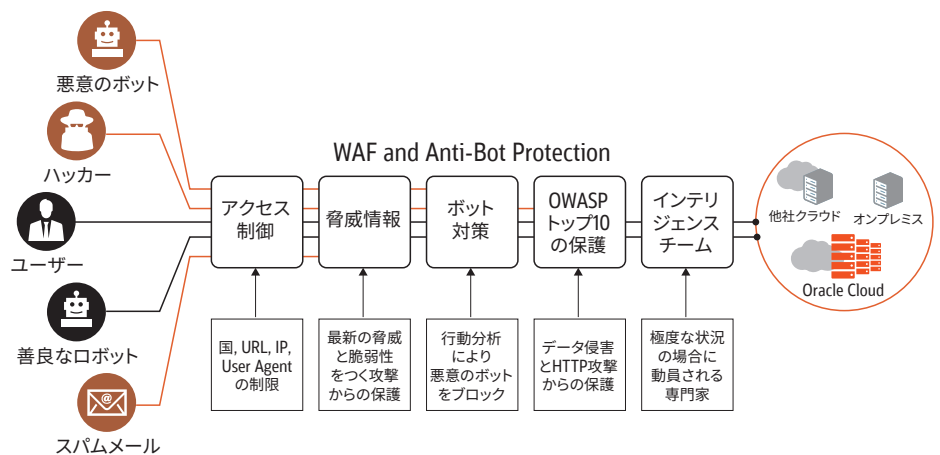
ソリューション Oracle Identity Cloud Service

# 3

## WebサイトへのボットやDDoS攻撃から脅威を迅速に発見し、対処したい



Webアプリケーションはボット攻撃やハッカーによるサイバー攻撃の脅威に恒常的にさらされています。Oracle Cloud Infrastructure Web Application Firewallを利用することで、サイバー攻撃からボット対策、アクセス制御、脅威情報などの複数機能を組み合わせてWebアプリケーションに対する多様な攻撃を防止することができます。また、400を超える事前定義されたOWASP (Open Web Application Security Project)、アプリケーション、およびコンプライアンスルールを利用することで、ハイブリッドおよびマルチクラウド保護を迅速に行うことができます。

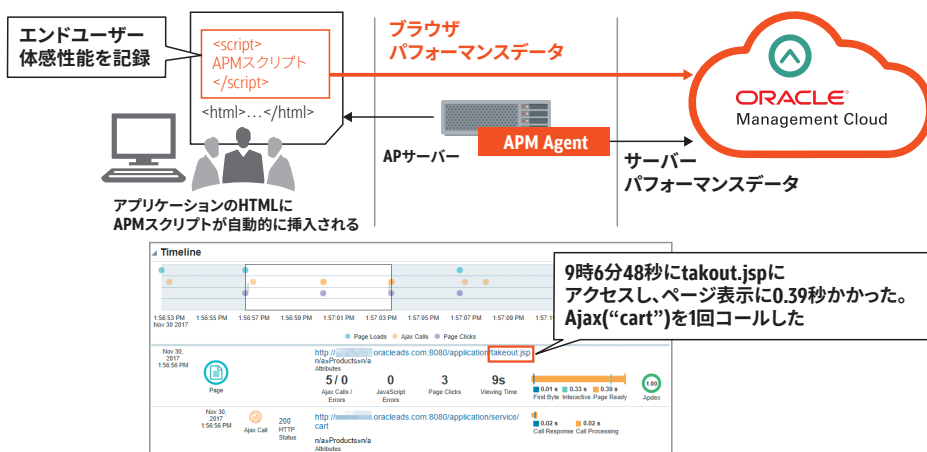


ソリューション Oracle Cloud Infrastructure Web Application Firewall

# 4

## システムの体感レスポンスを可視化し、ユーザー体験とサービスレベルを改善したい

オンプレミスやクラウドのシステムを利用しているユーザーから「システムが遅い」「レスポンスが悪い」といったクレームが寄せられたことはありませんか。しかし、本当にシステムが遅かったのか、その場合、どの機能のレスポンスが悪かったのか、ユーザーからのクレームにいち早く気づき、原因を見つけて対処するのは至難の業です。そうした課題を解決するためにはエンドユーザー性能の常時監視と分析を行う必要があります。すなわち、リアルタイムでエンドユーザー体験を可視化することで、ユーザー視点に基づくパフォーマンスの問題に対処できるようになります。



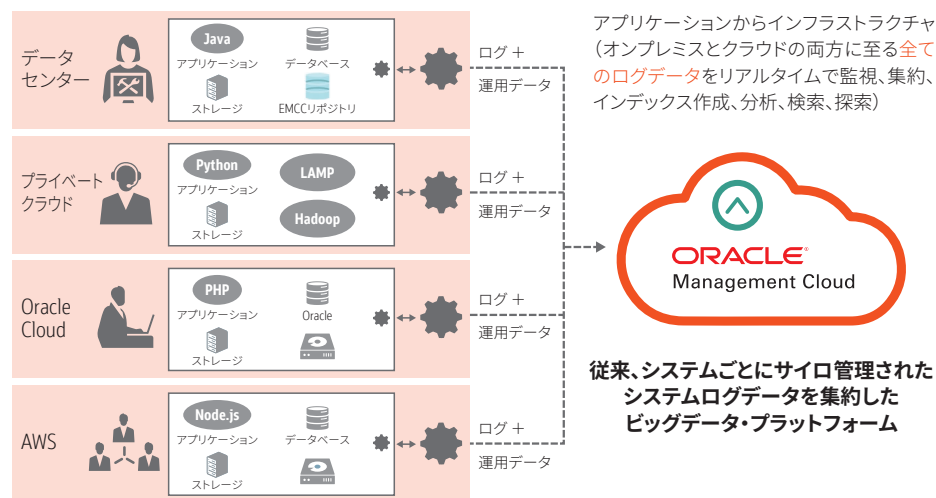
### ソリューション

### Oracle Application Performance Monitoring Cloud Service

# 5

## 大量に出力されるログを統合分析して障害対応を早めたい

システム障害への対応を行っていくにあたって、システムやアプリケーションから出力されるログの分析は不可欠です。しかし、オンプレミスとクラウドの両方の基盤で、複数のシステムやアプリケーションが運用される今日では、日々、大量に出力され、かつ形式もバラバラのログから必要な情報を収集し、分析を行うことは困難です。対してクラウド/オンプレミスのハイブリッド環境に対応したログ分析ツールを活用することで、すべてのログを横断した検索や、機械学習を活用した高速分析が可能となり、ひいては迅速なシステム障害への対応が実現できるようになります。



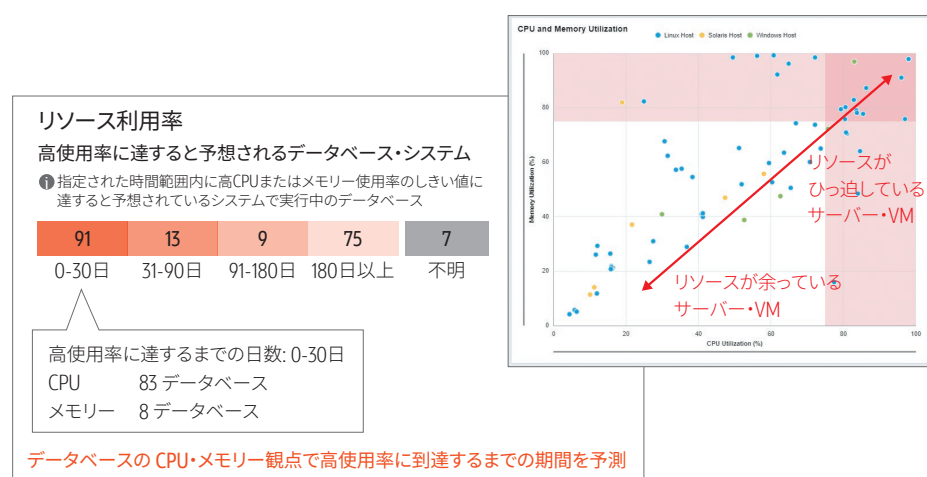
### ソリューション

### Oracle Log Analytics Cloud Service

# 6

## ITリソースの無駄な利用やひっ迫を抑えて、投資を最適化したい

クラウド上で稼働している仮想マシン等のリソースの最適化は、IT管理者にとって大きな悩みです。実際、ユーザーからの要望に応じて割り当てたCPUやメモリ等のリソースを余らせている仮想マシンや、チューニングが不十分でリソースを浪費しているデータベースやアプリケーションも存在しているのではないのでしょうか。対して、ITリソースの状況を横断的に分析、リソースとパフォーマンスの傾向を俯瞰するとともに、ひっ迫していたり余剰したりしているリソースを把握可能なモニタリングツールの活用により、現状のクラウドにかかるコストの抑制、および将来を見据えた最適な投資計画を立案できるようになります。



### ソリューション

### Oracle IT Analytics Cloud Service

# オラクルのセキュリティ・運用管理ソリューション

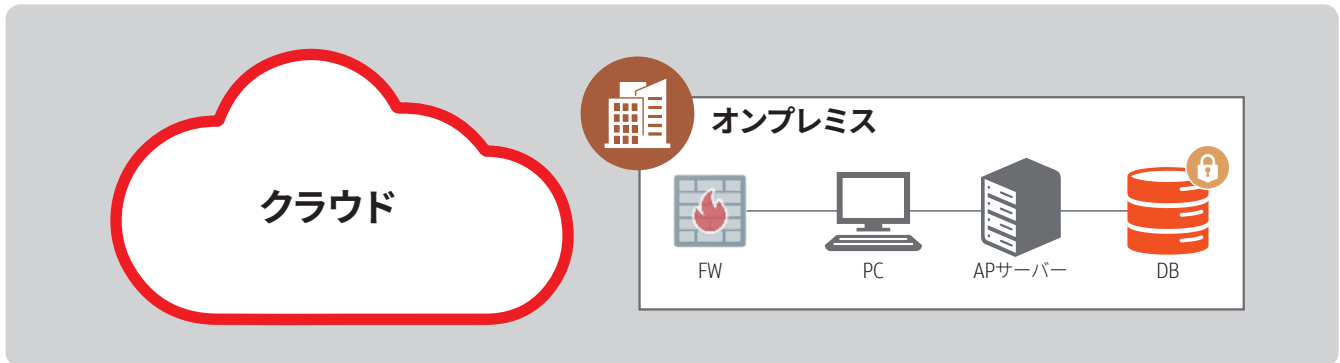
クラウドセキュリティ

ID・アクセス管理

ログ収集・分析

アプリケーション・  
インフラ運用監視

IT高度運用化



アプリケーション  
ファイアウォール

データベース  
セキュリティ

- オンプレミスとクラウドの運用データを統合
- 運用データを“セキュリティ対策”と“IT運用”の両方に活用
- 機械学習を活用しセキュリティ監視、トラブル対応を高度化

カテゴリ	ソリューション(製品・サービス)	クラウドサービス	概要
データベース セキュリティ	Advanced Security		透過的なデータベースの暗号化
	Key Vault		暗号鍵の安全かつ確実な管理
	Database Vault		データベースの特権ユーザ(DBA)の権限分離
	Data Masking and Subsetting		開発・検証環境における機密情報の伏字化
	Audit Vault and Database Firewall		DB、OSなど、網羅的な監査証拠の取得、管理
	Data Safe	✓	データベースセキュリティ対策を可視化し、対策を自動化
ID・アクセス管理	Identity Management		様々なアプリケーションへのID管理・アクセス管理の統合
	Identity Cloud Service	✓	クラウド上のユーザー行動の可視化とポリシー違反の検知
クラウド利用監視	CASB Cloud Service	✓	クラウド型のID管理(IDaaS)によるID管理・認証統合
ログ収集・分析	Log Analytics Cloud Service	✓	あらゆるIT環境のログ収集・分析と問題点の可視化
アプリケーション・ インフラ運用監視	Application Performance Monitoring Cloud Service	✓	アプリケーション性能とユーザー体験を可視化し問題点の発見
	Infrastructure Monitoring Cloud Service	✓	ITインフラストラクチャ全体の稼働状況監視
	Orchestration Cloud Service	✓	オンプレ・クラウドのタスク実行とアクションの自動化
IT運用高度化	IT Analytics Cloud Service	✓	ITリソース状況を横断的に分析しリソースの最適配置を支援
アプリケーション ファイアウォール	Oracle Cloud Infrastructure Web Application Firewall	✓	Web、ポット管理のリスクを軽減するアプリケーションセキュリティの強化

\*OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Copyright© 2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

日本オラクル株式会社

〒107-0061 東京都港区北青山2-5-8 オラクル青山センター  
oracle.com/jp

お問い合わせ窓口



TEL 0120-155-096

URL oracle.com/jp/contact-us